

M. H. 社会システム学科・3 年次生**I. 留学レポート****① 協定留学を目指した理由**

大学に入学した時から、ヨーロッパへの留学を考えていました。1 年生のころからドイツ語の授業を取っており、次年度で終わってしまったのですが、ラピートドイツ語という授業で、週に 4 コマドイツ語の授業を取っていました。また、国際課の資料を見てザールラント大学が同志社女子大学と協定大学であることを知り、今まで勉強してきたドイツ語を生かして、語学力をより伸ばしたかったので留学を決意しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

先ほども述べた通り、私は大学での授業を中心にドイツ語の勉強をしてきました。また、出願資格にゲーテ・インスティテュート主催の語学試験で B1 レベルの試験を受ける必要があったため、ドイツ語の先生にお願いして、B1 対策のための課題を出してもらっていました。また、自分でも B1 試験対策用のテキストを購入し、時間がある時に試験勉強をしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

ドイツ留学にあたって生活に必要な資金を持っていることを証明するために、閉鎖口座にお金を送金する必要があります。私は「Expatrio」というサービスに登録して、半年分の生活費を Expatrio の閉鎖口座に送金しました。この閉鎖口座から直接お金は下せないで、入国後現地で銀行口座を作る手続きが必要になります。さらに、ザールラント大学のホームページから入学の諸手続きを行い、申請が通ると大学側から学籍登録完了を証明する書類などを貰うことができます。また、保険にも加入しないといけないのですが、私は Expatrio に登録した時にバリューパッケージというサービスを選び、保険の手続きも代理で行ってもらったので、留学前に特別に準備などはしていませんでした。寮についても事前に申請する必要があります。ホームページから申請するとデポジットの送金についての詳細が送られ、期日までに資料に記載の口座に送金する必要があります。

④ 現地到着後

フランクフルト空港に到着後、電車でザールブリュッケンまで行きました。その時はドイツの列車についてよくわかっていなかったのが「Reisezentrum」というところでチケットを購入したのですが、事前に「DB」のアプリに登録してそこからオンラインでチケットを購入しておけばよかったと思いました。フランクフルトからザールブリュッケンまで 2 時間程度で到着します。到着したら、かなり大きな荷物を持っていたのでタクシーで寮まで向かいました。寮長から部屋の説明を受け、カギを貰います。オリエンテーションには、オンラインで参加しました。そこで市役所に行って住民登録をするように指示を受けます。市役所

はザールブリュッケンの街の真ん中にあります。さらに、学生証の受け取りや語学コースの説明などもそこで受けます。私は入国してからビザの申請を行ったので、必要書類を大学のウェルカムセンターに送り、外国人局からの返信を待っていました。また、N26 というオンラインバンクで自分の口座を開設し、閉鎖口座との紐づけも行いました。閉鎖口座の分の足りないお金は WISE を使って適宜に送金をしていました。

⑤ 語学研修期間

語学研修先の施設・環境について

大学は敷地がかなり広く、私が受けていた教室は図書館の近くにありました。授業はほとんど小教室で受けており、人数も大体 10～15 人くらいでした。大学自体周りは森や自然に囲まれていて、近くに Wildpark という入場無料の動物園があります。寮から大学まではバスを使って 5 分ほどで行けます。カフェや食堂なども土日祝日以外は空いており、食堂ではお金をチャージした学生証を使って支払いをします。図書館ではテスト期間中になると、特に利用者が増えます。

◆ 授業内容、課題、試験

私は ISZ という大学にある組織が提供している、ドイツの大学入学に値する語学力を有していることを証明する DSH という試験の準備コースでドイツ語を勉強していました。ドイツ語コースには I と II にレベル別でわかれており I の授業を受けた人は学期末に II のコースに配属されるための試験を受け、II のコースの人は DSH の試験を受けます。私は I のコースでドイツ語の文法や長文読解、リスニングを基礎から徹底的に教えてもらいました。ドイツ語コース I の授業は文法、長文読解、リスニング、コミュニケーションと分かれており、文法は大学の書店で購入した専用のテキストを使い、長文読解やリスニングは毎回先生の用意するプリントで練習問題をこなしていました。それぞれの先生が課題を出します。ほとんどすべての授業で課題が出されるので、なかなか 1 週間でこなすのが大変でした。11 月から 12 月あたりになってくると 2 月にある試験に向けて、過去問を中心としたテスト対策の授業を先生方が行ってくれます。基本的に、授業内でいただく過去問を繰り返し説いていけば、テストは大丈夫だと思います。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

語学コースは大学のキャンパスで行われていました。

◆ 履修科目

語学コースだけの履修だったため、正規科目は受けていません。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

タンデムという現地で日本語を勉強している学生と一緒に授業の空き時間を使って、お互いに言語を教え合っていました。また、そこで語学コースで出された課題を手伝ってもらっ

たりしました。さらに、ザールラント大学には日本語の授業が行われており、そこで現地の学生に日本語を教えるお手伝いのようなことをしていました。Tutorium という日本語の授業の後にプラスで日本人学生が現地の学生に日本語を教える課外活動に参加していました。参加している人はドイツ語が母国語ではない留学生もいたので、英語、ドイツ語、日本語を使って工夫して日本語のトレーニングと一緒に頑張りました。

⑧ 現地での住まいについて

寮は「Waldhaus」という名前の通り森に囲まれた寮の一人部屋に住んでいました。ほとんどの一人部屋希望の留学生は Waldhaus に配属されていると思います。寮には大学の専用ホームページから入寮申請をしました。部屋には小さいキッチンと冷蔵庫、大きな本棚、洋服ダンス、机、いす、ベッドなどが用意されています。お風呂場はユニットバスで、バスタブはありません。食堂では量が多く、食べきるのが大変な時もありましたが、メニューによってはとてもおいしかったです。そのため、基本的に寮で自炊をして過ごしていました。市内にあるアジアショップで日本の調味料などゲットできます。通学はバスで 5 分です。基本的に移動はバスを使うことが多かったです。

⑨ 長期休暇の過ごし方

冬休み中にいろいろな地域のクリスマスマーケットをめぐっていました。ザールブリュッケンはもちろん、ハイデルベルク、ドレスデン、ザンクトヴェンデル、ケルン、デュッセルドルフ、ストラスブールなどの地域のクリスマスマーケットに行き、それぞれの地域の雰囲気の違いを楽しみました。また、冬休み中に課題も出されていたので、勉強もある程度していました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特に特別なことはしていませんでした。元々大学院への進学を希望していたので、リクナビやマイナビなど登録していましたが、試験に集中したかったこともあり、あまり就活には取り組みませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中楽しかったことは、クリスマスマーケット巡りをしたことと、現地の学生とたくさん交流できたことです。ヨーロッパのクリスマスマーケットは本当に規模が大きく街並みが一層輝いて見えます！ライトアップされた町を見ながら、ホットチョコレートを飲んだり、クレープを食べたり、観覧車に乗ったりと様々な楽しみ方ができます。

タンデムやチュートリウムといった学生と交流する機会がたくさんあって、楽しかったです。現地の学生とカフェに行ったりゲームをしたり、現地の学生の過ごし方や考え方に触れることができてとても有意義でした。日本語コースの仲間たちともクリスマスマーケットに行ったり、寮にある大きなキッチンを借りて餃子を作ったりしました。そのようにたくさ

んの学生と一緒に遊んだり、何かしたりしているときが一番楽しく、充実していたと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

寮でよくバーを開いており音楽が響くことが多く、シャワーも温水が 5 分ごとにしか使えなかったので、留学当初は環境に慣れず、知り合いもいなかったのが孤独で辛かったです。また、授業もドイツ語が殆ど聞き取れず、苦勞しました。初めの 1 か月は日本に帰ろうか迷うぐらい落ち込んでいましたが、タンデムの友達やほかの学生とも交流が増えるにつれて留学が楽しくなりました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

何度か友人と旅行に行ったのですが、電車が遅れる、またはキャンセルされるということが日常茶飯事だったので、旅行中などは特に電車の時間を気にしていました。また、日曜日にはほとんどすべてのお店が閉まっているので、金曜日に土日の分の食材を買いに行っていました。また、ドイツ人はきれい好きな人が多く、寮長が水道のメーターを確認しに来た時にお風呂場をもっと掃除するように言われてしまいました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、日本語コースが設けられており、現地留学生と親交を深める機会が多く設けられている点です。また、ドイツ語の先生も教えるのが上手く、優しい先生ばかりでした。悪かった点は、ビザの書類など用意してきたにもかかわらず、帰国までビザの取得ができなかったことです。入国して 90 日を過ぎると基本的にドイツ以外の国への渡航は禁止されています。この 90 日以内にビザを取得するためにウェルカムセンターと何度もメールをやり取りしていたのですが、結局ビザを貰えませんでした。私以外に留学していた日本人の友達も、もらえている人もいればそうでない人もいたので、みんなビザについては困っていました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

ノートパソコン、ジップロック、お箸、日本の調味料（醤油、めんつゆ、鶏がらスープなど）ボディタオル、電子辞書、はさみ

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

最初は何を言っているかわからなかった授業が、3 か月ほど勉強を続けると聞き取れるようになっていきました。また、コミュニケーションも回数を重ねるうちにうまく話せるようになっていき、相手の話していることも、ゆっくりだったら理解できるようになり、とても嬉しかったです。留学前は引きこもっていることが多かったのですが、留学中はたくさん外に出て活動する機会が多く、楽しかったです。ドイツ語コースⅡへ行くためのテストにも合格し、とても嬉しかったです。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

ザールラント大学はドイツ語を極めるには最適の大学だと思います！留学にはつらいことも楽しいこともたくさんありましたが、挑戦してよかったと本当に感じます。半年の留学はなかなかできない経験なのでこの機会を活用する価値は十分にあります。ぜひ、海外留学という大きな挑戦に向けて頑張ってください！！

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

現在、大学院への進学を考えています。ドイツ人の友人たちと連絡を取っており、またドイツへワーキングホリデーか語学留学に行きたいと考えています。詳しいことはまだ計画していませんが、必ずまたドイツへ渡航し、現地で助けていただいた日本人講師の方や友人たちに会いに行きたいです。

V. 写真



街で一番おいしいと評判のジェラート屋さんです。友人とも、行きましたし、一人でも暇なときに行ってアイスを食べていました。



ザールラントの中心地にあるヨハネス教会です。まちの中心地にあり、ほぼ毎日買い物に行くときにこの近くを通っていました。



ザールブリュッケンにある「Deutsch-Französischer Garten」で行われたクリスマスマーケットで、たくさんの人がライトアップされたきれいな庭園を楽しんでいました。



ドレスデンのクリスマスマーケットの時の写真です。ザールブリュッケンからドレスデンまで電車で 9 時間ほどかかりましたが、とてもきれいな景色を見られたので満足です。



寮の最上階から撮影したザールブリュッケンの街並みです。私が住んでいたのはもっと低階層だったのですが、14 階建てぐらいの大きな建物なので高層階の部屋になると街並みが見渡せます。